

レキオライム

琉球を感じる、伝統の左官壁



當山官業
与那原漆喰

レキオライムは琉球の左官壁

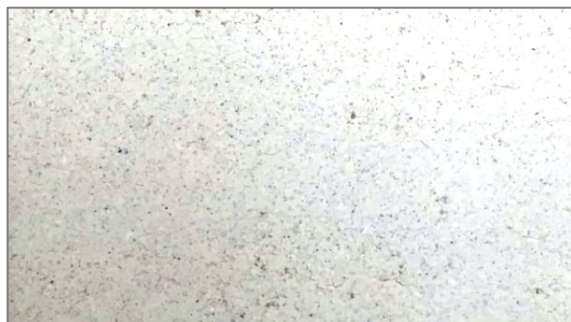
自然素材と伝統の技が

琉球の豊かな 空気、光、匂い、音 を育みます

- すべての原料が天然素材です。化学のりなどの化成品は無添加です。
- 人や環境に優しく、住まいに最適な左官材料です。
- 硬化剤や樹脂などは、壁の呼吸を阻害しますので配合しておりません。
- 自然な色合いで、微妙に濃淡のある仕上がりになります。
- 左官職人の創意工夫で、いろいろなパターン仕上げが可能です。

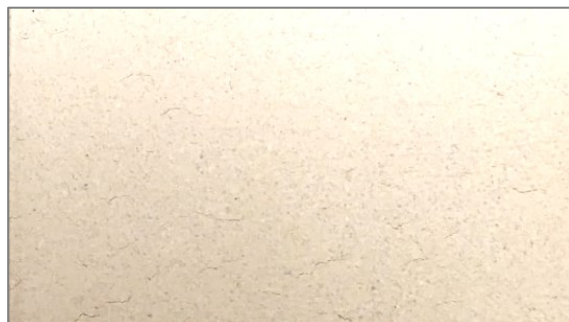
coral beige

コーラル ベージュ



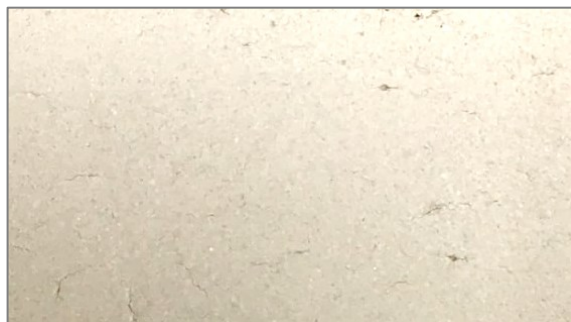
lequio solo vermelho

レキオ ソル ヴェルメリオ



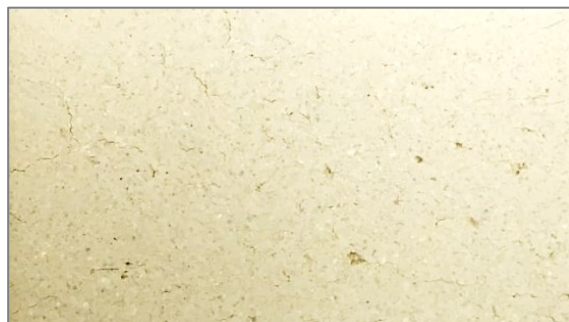
lequio solo cinza

レキオ ソル シンザ



lequio solo amarelo

レキオ ソル アマレロ



レキオライム 製品仕様

種別； 琉球骨材入りねりしつくい(化成品無添加)

用途； 主に内装仕上材

原料； 琉球骨材/琉球土/消石灰/珪砂/麻繊維/海藻粉末/水

荷姿； 20 kgポリ袋入(段ボールケース)

仕様； 標準塗り厚；1.5mm 標準使用量；8 m²/袋

レキオライム 標準施工仕様

下記以外の仕様についてはお問合せ下さい

使用材料

種類	材料名	荷姿
琉球骨材入りねりしっくい	レキオライム 各色	20kg/ポリ袋
せっこうボード用下塗り材	ネオ・タッチ(丸京石灰)など	20kg/紙袋
中塗り砂しっくい	しっくいなか塗り(丸京石灰)など	20kg/紙袋
吸水調整材	セメント混和用ポリマーディスパージョン 例)NS ハイフレックス HF-1000(日本化成)など	

工程 (下地;せっこうボード)

工程	製品名	製品(kg)	水(kg)	塗厚 (mm)	所要量 (kg/m ²)
素地確認	ボードが貫や胴縁に 455mm 以内の間隔で固定されており、固定ビスの間隔が周囲 100mm 以下、受け木の上 150mm 以下であること。(※木造壁下地の場合)				
素地調整	セメント混和用ポリマーディスパージョン(※せっこうが露出した加工部のみ)				
目地処理	ネオ・タッチ またはジョイントコンパウンド / ジョイントテープ				
下塗り	ネオ・タッチ	20	5.4	1.0	2.0
上塗り	レキオライム	20	—	1.5	2.5
乾燥養生	3~10 日程度、乾燥の管理を行う。				

工程 (下地;内装壁セメントモルタル)

工程	製品名	製品(kg)	水(kg)	塗厚 (mm)	所要量 (kg/m ²)
材料準備 素地確認	中塗り用しっくいは、使用前日までに準備して練り置きしておく。 セメントモルタルは 14 日以上養生されていること。				
吸水調整	セメント混和用ポリマーディスパージョン 3~5 倍液				
中塗り	しっくいなか塗り	20	6	≥5.0	5.7
	必要に応じ、ひび割れ防止のため、ネット伏せ込みを行う				
上塗り	レキオライム	20	—	1.5	2.5
乾燥養生	3~10 日程度、乾燥の管理を行う。 ※屋外は 14 日以上、雨掛りなきようシート養生する。				

※しっくいは、コンクリート躯体に直接塗ると硬化後にひび割れや剥離などの事故を起こす。必ずセメントモルタルで下地をつくり、十分に養生した後、中塗り砂しっくいを塗ってから仕上げる。

レキオライム 施工上の注意

- せっこうボードの下塗り材は〈ネオ・タッチ〉に代えてユートップ(吉野石膏)を用いることが出来る。その際は必ずユートップ乾燥後に吸水調整材の塗布を行うこと。
- 〈しっくいなか塗り〉に代えて既調合しっくいに砂を練り混ぜた砂しっくいをを用いることが出来る。
- 施工前に練り混ぜた材料は、乾燥しないように密封して保管する。
- 中塗りは水引きや乾燥状態に合わせ、数回に分けて塗り重ねる。施工面積や施工環境に応じて、中塗りの塗り層の後に吸水調整材を塗ることがある。
- 塗り作業中は出来る限り通風をなくす。施工した後、水引き具合をみて徐々に通風をして、その後は自然に乾燥する。仕上がりに後 10 日間程度は壁表面に水滴が生じることがあるので、柔らかい布などで毎日 2~3 回拭き取るなど、乾燥の管理を行う。
- 塗り付け場所の気温が 5℃以下、または作業後に 5℃以下になることが予想されるときには、施工を中止するか、油煙の出ない器具で採暖する。
- ヒーターや灯明、線香などの油煙や煤塵を吸着して変色することがあるので施工中から施工後しばらくは換気に配慮すること。

Que é o Lequio Lime (レキオライムとは)

沖縄がひとときわ輝いていた時代「大航海時代」。
世界じゅうの冒険家や船乗りたちが大発見を夢みて見つめたであ
ろう当時の世界地図には、すでに沖縄の島々が LEQUIO (レキオ)
の名前で描かれています。

沖縄伝統の 赤瓦 に使われている ムチ (琉球漆喰) は、そんな
大航海時代のころから続く長い歴史をもち、世界でも沖縄でしか
造られていないとても希少な漆喰なのですが、現代では瓦やムチ
の需要が少なくなってきました。

沖縄の伝統技術 を守り、ムチを作り続けてきた 与那原漆喰 が、
琉球漆喰で培った技術をもとに新たな漆喰を開発するなか、原料
素材を研究・厳選して辿り着いたのがこの レキオライム です。

レキオライム の基本となる コーラルベージュ は、琉球石灰岩か
ら作る 珊瑚 (コーラル) を基本とした素材で作られています。
レキオライム は 全て沖縄の土 で色をつけており、全ての原料に
自然素材 を使用しながら安心安全にもこだわって作っています。

左官のご相談は —

壁屋 當山官業

〒901-0605 沖縄県南城市玉城中山 9-1 TEL / FAX 098-943-2248
URL <https://www.touyamakangyou.com/>



素材のご相談は —

与那原漆喰

〒901-0202 沖縄県豊見城市嘉数 145-1 TEL / FAX 098-856-1721
URL <https://www.4786sikkui.com>



レキオライム